

### 普段の活動から

埼玉県自治体消防75周年記念式典



長年消防活動に尽力されている消防職員や団員の皆様へ感謝いたします

思いやり駐車場制度スタート



障害のある方や要介護高齢者、妊産婦の方々に利用証を交付し、優先駐車場に停めやすくします

避難所運営ゲームHUG開催



避難所のあり方もシミュレーションしておくことが大切です

十二日まち



消防団で見回り活動

さいたま市消防出初式



消防団員として旗手をつとめました

障害者支援施設 嵐山郷



埼玉県の福祉のセーフティーネットです

さいたまクリテリウム



都市計画審議会



連合埼玉新春のつどい



秋のごみゼロキャンペーン



浦和区民まつり



地域パトロール



## 2月定例会

一般質問に立つ予定です!

野本れいこに議会でとり上げて欲しいことがありましたら、是非ご意見を下記までお寄せください!



ご希望におこたえしています!

南浦和駅西口 歩行者用の信号機設置



車道の信号のみで、歩行者用信号がありませんでした。通学路でもあったため歩行者用を新設していただきました。

東高砂町エリアの浸水対策



Before



After

以前から大雨が降ると、マンホールから水が溢れていました。まずは側溝を清掃し、排水を良くする作業をしていただきました。

県議会議員 野本れいこ事務所

事務所 浦和高砂3-6-12 グローバル県庁前201

TEL 080-6029-8268 FAX 048-611-9243

Email yume.saitamakai@gmail.com

皆様のお声をお聞かせください!

HP



Instagram



facebook



Twitter



埼玉県議会議員

# 野本れいこ

Vol.09

2024.冬

県政報告

のめい通信



## 2024年も 県政発展に全力を尽くします!

1977年生まれ  
香蘭女学校・早稲田大学政治経済学部卒業  
1男2女(19.17.15歳)の母  
防災士  
民主改革さいたま市議団  
元政務調査員  
2023年4月 さいたま市浦和区より県議会議員トップ当選

元旦から能登地震に見舞われた2024年。自然災害で大きな被害をもたらされる頻度は確実に上がり、平時からの備え、危機へのシミュレーションは優先して着手しなければならない時代になりました。被災地への支援として、県では段ボールベッド等の物資から公営住宅の提供、職員や災害派遣医療チーム(DMAT)の派遣を行っています。

私たちができることは足元の生活を見直し、防災備蓄品のチェックや避難場所の確認、家族と連絡をどうとるか話し合っておくなどの基本を徹底することだと考えます。

私は、行政で備えるべきことをしっかりと要請し、県民の皆様を守り、安心安全を確保できるよう行動していきます。

本年も皆様のお声をお聞かせください!



元旦に地元神明社にて福だるまを配らせていただきました

## 12月定例会報告

2023年12月4日から22日にかけて埼玉県議会では12月定例会が開かれました。知事からは、国が出した経済対策を受けて組んだ補正予算議案や、昨年度の決算認定についてなど33件の議案が提出され、全て可決されました。(2件認定、4件同意含む)

また、「北朝鮮による弾道ミサイル技術を使用した衛星打ち上げに断固抗議し、制裁措置の厳格な履行等を求める決議」など14件を議員側から提出し、可決しました。

## エネルギーや食料品価格高騰対策

補正予算 約115億円

昨年5月に出されたものと内容が多少入れ替わりました

詳しくはこちらへ



### 新たに追加された項目

- トラック運送業者への燃料代支援(約23億円) 要申請
- 生活者への支援として県産農産物の販売促進キャンペーン(約3億円)など

直売店・量販店で2割増量  
又は2割ポイントUP

### 継続で支援する項目

- LPガスを使用する一般消費者約148万世帯への支援(約32億円) 申請不要
- 福祉施設、医療施設、私立学校等への光熱費補助(約35億円)
- 畜産農家や施設園芸農家への支援(約6億円)
- 中小企業等の省エネ・再エネ設備投資への支援(約14億円)など

申込日  
1/29~31

補助率  
2分の1

上限金額  
500万円

詳しくはこちらへ





### 委員会報告

私が所属する委員会での質疑のやりとりをQ&A方式でお伝えします。



### 総務県民生活委員会

#### 1 職員給与に関する条例改正について

#### 非正規職員の待遇改善は国の勧告に沿っているか

**Q** 会計年度任用職員の報酬について伺う。正職員は令和5年4月1日から遡及改定(今回は増額)されるが、非正規である会計年度任用職員には適用しないという市もある。本県はどうか? また、来年度から会計年度任用職員に勤勉手当(夏のボーナス)が新設され、必要な予算は約13億円とのことだが、対象人数は?

**県A** 会計年度任用職員も遡って改定される。(=4月分から遡って増額分を支給する)人数は約6,000人。

#### 2 「県男女共同参画センター(With You)」と「県婦人相談センター」が統合されることについて

国が制定した(通称)「困難女性支援法」は、DVや貧困、性搾取、家族からの孤立、ひきこもり、予期せぬ妊娠など様々な困難を抱えている女性が対象です。この法律に基づき、各都道府県は基本計画の策定が義務づけられており、4月から実行段階へ移行。本県では2つの組織統合により、効率的な体制づくりやニーズの掘り起こし、中長期の支援を目指します。

#### しっかり機能する女性支援体制を

**Q** 新しい組織体制では市町村や民間団体との連携は具体的にどうはかっていくのか。厚労省の基本方針でも民間団体の新規立ち上げ支援を検討するようにとあるが、そのような意向は?

**A** 市町村から「県男女共同参画センター(With You)」の相談支援に繋がってもらう。また、相談から一時保護施設への入所、退所後のケアまで支援に必要な福祉支援サービスの提供を担ってもらう。

民間団体には行政では手の届きにくい同行支援や一時保護の受託、また対象女性の早期発見などを行っていただきたい。新規立ち上げについては話があれば対応していく。

**Q** 相談体制はどうなっているか? 「With You」の相談員と「婦人相談センター」の相談員が受けてきた相談内容は異なっている。「With You」はこころの相談、家族・親族に関することが多く、相談内容も多岐にわたる一方、「婦人相談センター」での相談内容はDV相談がメインである。専門的知識、経験が求められる相談支援員の資質向上はどのように行っていくか?

**A** 来年度の相談体制については検討中だが、現在「With You」は8人、「婦人相談センター」は3人の相談支援員がおり、全員会計年度任用職員である。今後研修を行い、相談の共有化を図る事例検討会議等で資質の向上を図っていく。

上記の他、「県民活動総合センター(けんかつ)」の指定管理者についてなどの議案が可決されました。

### 公社対策特別委員会

公社対策特別委員会では23ある公社(県が4分の1以上出資している団体)のうち、今回は「埼玉高速鉄道株式会社」「埼玉農林公社」「埼玉県土地開発公社」に対する審査を行いました。



#### どうなる!? 地下鉄7号線の岩槻延伸

「埼玉高速鉄道株式会社」は、浦和美園駅から赤羽岩淵駅まで埼玉スタジアム線を運行し、南北線に乗り入れ、東急新横浜線、相鉄新横浜線との直通運転も開始しています。

**Q** 現在、地下鉄7号線の岩槻への延伸は、さいたま市長からの要請待ちの状態であるが、経営目標にも早期実現へ積極的に協力するとある。改めて意気込みについて伺う。

**A** 今、この線自体が大きく変化してきている。南北線には麻布台ヒルズができ、3,000万人の来街者数が想定され、さらに2030年には羽田空港とつながる。こうした中でスタジアム線沿線の定住人口が増えてくる。赤羽から美園まで通した時もおよそ2,600億円の建設費がかかったが、その桁を上回る大きな経済効果があった。岩槻延伸についても、このエリアにとって一番大事な社会インフラであると認識している。

### 視察報告

#### TIPSTAR DOME CHIBA / 大宮競輪場 / 神奈川県立スポーツセンター

11月20日から21日にかけて、総務県民生活委員会で千葉市にある競輪場「TIPSTAR DOME CHIBA」と神奈川県藤沢市にある「神奈川県立スポーツセンター」を視察しました。旧千葉競輪場は、売上減少から廃止も検討されましたが、民間資金100%で建て替えられ、新規顧客獲得を目指し、スポーツエンターテインメント性の高い「250ケイリン(PIST6)」という種目へ。本県には大宮競輪場があり、運営の課題解決へのヒントをいただきました。



「PIST6」は6人の選手が6周し、最も早くゴールした選手が勝ちます

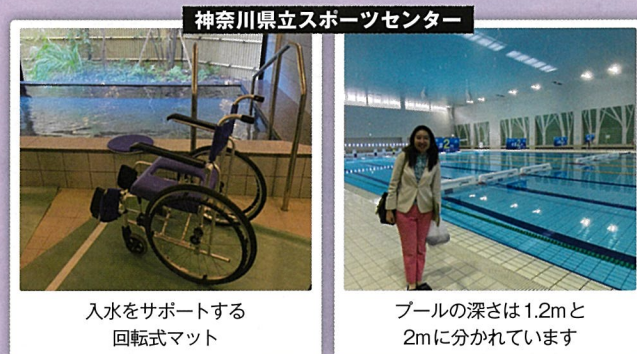
1周250mの木製トラック(バンク)



大宮競輪場

それを受けて、2024年1月5日に「大宮競輪場」に足を運びました。施設は老朽化が進み、車券販売はインターネットが約8割を占めるなか、競輪場で味わう臨場感やワクワク感をどうやって残していくか模索していきます。

「神奈川県立スポーツセンター」は、障害者がスポーツ参加をしやすくする工夫があらわに。プールには車椅子から入水をサポートするリフトや回転式マットがあり、宿泊棟は全室車椅子対応。アスリートを医科学の面からサポートする環境もあり、すべての県民のスポーツ活動を支



入水をサポートする回転式マット

プールの深さは1.2mと2mに分かれています

援しています。上尾に新設予定のスポーツ科学拠点施設、川口に新設予定の屋内50mプール整備事業に活かしていきます。

#### 荒川水循環センター

11月29日には、荒川水循環センターで新しく稼働した汚泥焼却炉を視察。さいたま市、川口市、上尾市、蕨市、戸田市を対象とした下水処理施設です。汚水を処理する過程で発生する汚泥をより高温(850度)で焼却することで、ダイオキシンの発生を抑え、温室効果ガスを57%削減し、さらに廃熱を再利用することで電力使用量を約50%削減しました。

今定例会でも電気代の高騰や老朽化した下水道施設の

修繕費確保のため、荒川左岸北部地域(熊谷市、行田市、桶川市、鴻巣市、北本市)と利根川右岸地域(本庄市、美里町、神川町、上里町)では、市町の負担が増えることが決まりました。技術の進歩を公共インフラの再整備に繋げ、県民負担を少なくする努力をしています。



荒川水循環センター

#### 広島県教育委員会



広島県議会

令和9年度から導入予定の新しい県立高校入試について、本県に先駆け実施している広島県教育委員会を11月14日訪問しました。また、東保幸広島県議、公立の中学、高校の先生方と意見交換の場を持たせていただきました。

新しい選抜方法では、全員自己評価資料を作成し、それをもとに面接を行います。子どもたちが自分自身を知り、言葉で自分をアピールし、進路を選び取っていく過程は子どもたちの自己肯定感を高める一助となるのは間違いのないでしょうが、受験生、並びに教育現場への負担増をいかに減らしていくかは実施までに工夫していかなければならないと思います。